



通信

HP 学校だより
R6. 11. 6
NO. 27
文責 伊藤美佳



学びをつなげる

1日（金）に、トヨタ車体から9名の方をお招きして「からくり改善」についての授業を行いました。「からくり改善」というのは、自然エネルギー（重力、てこ、遠心力など）を使って、作業効率をあげるためにどんな工夫ができるかを考え、実践することを表します。6年生は、理科で「てこ」について学びました。学んだことが社会でどのように役立っているかを、実際にからくりを操作して体験することができました。見通しがもてると学ぶことに対する意欲が高まります。この授業を通して、子どもたちが学びを「おもしろい」と感じて、身近な現象にも興味関心をもってくれることを期待したいです。

今回、トヨタ車体の方々「ひまわり自然公園」も見学してくださいました。ひまわりの子どもたちが生き物を見せながら詳しく説明をしたり、タブレットを使ってプレゼンテーションをしたりする姿に感心したと伝えてくださいました。好きなことをとことん突き詰めることは、とても大切な経験だと気付かされました。



自分たちで

6年生が総合的な学習の時間を使って、プロジェクト学習を行っています。全校のみんなを笑顔にするために、自分たちで企画を考えています。今回、「お笑い」でみんなを笑顔にというチームの活動についてお伝えします。

10月初旬に、企画案を見せに来てくれました。その際、今年度中に2回実施したいこと（出演者については、1回目は見たことがあり、自分たちでネタを作れる高学年・2回目はそれを見てやりたいと思った低学年も含めた全校）、1回目の実施日を決めたら、そこまでの日程調整（段取り）をして自分たちで進めていくことなどを伝えてくれました。10月中に出演者募集を連絡し、9組の出演希望があったそうです。11月5日には、ネタを6年生に見てもらう会を実施していました。いつも参加してくれている子たちだけでなく、新たな顔ぶれの子たちもいて、当日が楽しみになりました。自分たちでネタを考えることで、たくさんの子を笑顔にできたことが喜びにつながってくれるといいなと思います。それとともに、仲間と話し合いながら、1つの作品を作り上げる楽しさを味わってくれることを期待します。

この会を企画したことで、出演者が達成感を味わうことに喜びを感じる6年生であってほしいと願っています。

